

## CHALLENGE CUP RACE 2022 OKAYAMA サマーフェスティバル in 岡山

2022年 8月 20・21日 天候:曇り/晴れ 参加12台

岡山国際サーキットで例年開催される「サマーフェスティバル in 岡山」。今回もリバースグリッド制で第 1 レースの結果より上位 6 台がリバースして第 2 レースをスタートする。リバースグリッド制は 4 年目となるが、リバースしたことによる接触事故は今回も含めて皆無、そして、リバース制により上位ドライバーの実力が試されるが、上位 3 名はチェッカー時には同じ位置に戻っていた。



2022 S-FJ ジャパン・チャレンジの第 4 大会が岡山国際サーキットで開催された。岡山では今年からシリーズ戦がなくなったため、今回はジャパン・チャレンジの単独開催となったが、鈴鹿シリーズに参戦するドライバーに加え、昨年の日本一決定戦以来のレース参戦となる、オートポリスシリーズチャンピオンの益田富雄選手(KMTS ミスト KKS II)など、12 台のエントリーが集まり、予選から熱戦を繰り広げた。

### 《公式予選》

S-FJ ジャパン・チャレンジとしては今季 3 度目の 2 レース開催となる岡山大会だが、土曜、日曜にそれぞれ予選を行った菅生大会、予選中のベストタイム、セカンドタイムでレース 1、レース 2 のスターティンググリッドを決定した富士大会とは異なり、今回は公式予選でレース 1 のスターティンググリッドを決め、レース 2 のスターティンググリッドはレース 1 の決勝順位に基づくという方式が採用された。ただし上位 6 台はリバースグリッドとなる。

そのレース 1 のスターティンググリッドを決める公式予選は 15 分間で行われた。午後からは雨の予

報が出ていた岡山だが、午前中に行われた予選の天候は曇り。路面は終始ドライでの走行となった。しかし気温 26℃、路面温度は 37℃とこの時期にしてはやや低めのコンディションだ。走り出してすぐにトップに立ったのは小川涼介選手(M2 KK-SII)。2 周目に 1 分 40 秒 968 を記録すると、3 周目に 1 分 40 秒 310、4 周目には 1 分 39 秒 940 と順調にタイムを縮めていく。

しかし 5 周目に入ると、清水啓伸選手(Drago CORSE)が 1 分 39 秒 555 で小川選手を上回ってトップに浮上。その後も 6 周目 1 分 39 秒 403、7 周目 1 分 39 秒 236 と後続を寄せつけないタイムを連発、そのままピットに戻って予選を早々と切り上げた。

小川選手はその後も走行を続けたが、7 周目に 1 分 39 秒 747 を記録するにとどまり、2 番手に終わった。3 番手には 7 周目に 1 分 39 秒 770 を記録した元山泰成選手(Ecotech Racing)がつけた。

予選:レース 1・PP 清水啓伸選手(Drago CORSE)

当初は最後まで走る予定だったんですが、意外に早くタイヤが温まったので、前との距離を見て 5 周目からアタックを始めて、その後もちょっとずつタイムを上げて、ベストが出た 7 周目でタイヤが温まりきった感じでした。その次の周でちょっとミスをしてしまったので、そのまま走行をやめました。昨日からロングランの調子はいいいので、レース 1 ではしっかりミスせず確実に、落ち着いてレースできたらと思います。



予選:レース 1・2 番手 小川涼介選手(M2 KK-SII)

昨日、新品タイヤの皮を剥いてから予選を走り出したので、最初の方でタイムが出ましたが、今日のコンディションに合わせきれなくて、トップとの差がついてしまいました。レース 1 はフロントローからのスタートなので、しっかりトップとレースをして 1 位を獲りたいです。



予選:レース 1・3 番手 元山泰成選手(Ecotech. Racing.)

昨日は調子も悪くて悩んでいたんで、一回自分の中でリセットというか落ち着いていこうと思って予選に臨みました。タイヤがいいところに来るまでに 3、4 周かかるので、それまでは我慢して走るようにしました。5 周目からタイムが上がったので、狙いどおりできたと思いますが、タイム的にはもうちょっと出したかったなあと。レース 1 も落ち着くことを意識して走れば、大きく順位を落とすこともなく、自分の実力を出し切れると思います。1 位、2 位の選手は手強いので、表彰台に立つことが目標です。





## 《決勝レース 1》

午後に行われた決勝レース 1 は、当初の予報に反して空には晴れ間が覗き、路面は終始ドライ。気温は 29 度、路面温度は 42.5 度に上昇するなか、12 週の戦いが始まった。

スタートでトップに立ったのはポールポジションの清水選手。予選 2 番手の小川選手が 2 位で続き、予選 4 番手の板倉慎哉

選手（AMORE TOKYO☆表参道☆KKSII）が 1～2 コーナーで予選 3 番手の元山選手を捉えて 3 位でコントロールラインに戻ってきた。元山選手はひとつ順位を落としたものの、上位 4 台は互いにコンマ 4 秒から 6 秒の間隔を保って 2 周を消化、3 周目に入ると清水選



手が小川に対してコンマ 6 秒のリード。元山選手は板倉選手までコンマ 9 秒とやや遅れ始める。

その後、清水選手は 4 周目にコンマ 8 秒、5 周目に 1 秒 1 と着実にリードを広げる。しかし、ほとんどのドライバーが予選で使用したタイヤをレース 1 でも使用したのに対し、新品タイヤを投入する作戦に出た小川選手は 7 周目に 1 分 39 秒 619 でファステストラップを更新、清水選手との差をコンマ 8 秒に縮めてきた。

これに対し清水選手も 8 周目、9 周目と再び小川選手との差を広げにかかったが、小川選手は 10 周目から清水選手を上回るペースで追い上げ、11 周目には 1 分 39 秒 584 とさらにファステストラップを更新して背後に迫った。

そして 2 台はテール・トゥ・ノーズ状態でファイナルラップに突入。清水選手との差をギリギリと詰めていく小川選手だったが、清水選手はヘアピンそしてダブルヘアピンと要所要所をきちんと押さえつけて付け入る隙を与えず、トップでチェッカーを受けた。2 位に終わった小川選手との差はわずかコンマ 135 秒。3 位には板倉選手が入った。

そしてリバースグリッドで戦われる明日のレース 2 は、予選 9 番手から着実に順位を上げ、8 周目に太田浩選手（ミスト・セキグチ・制動屋）を抜いて 6 位でフィニッシュした益田選手がポールポジションを獲得。5 位フィニッシュの松田大輝選手（K-TACK MYST KK-SII）が 2 番手から、4 位の元山選手は 3 番手からレース 2 をスタートすることになった。



### 優勝 清水啓伸選手(Drago CORSE)

予選の時から後半にタイヤのたれを感じていたもので、前半で頑張ろうと思って早めにプッシュしました。それで前半で引き離すことができましたが、タイヤがキツくなってきました。それでもミスせずに走れば追いつかれることはないと思っていました。あとはファイナルラップでヘアピンとダブルヘアピンのひとつをしっかり押さえて、入ってこれられないようなラインを走りました。自分は前半が強いと思っているので、レース 2 はスタートをミスすることなく、早めに前に出て、いい展開にできたらいいなと思います。

### 2 位 小川涼介選手(M2 KK-SII)

決勝のペースでは勝てていても、抜ききれませんでした。自分の実力は出し切れたと思います。もっと周回数があれば、という思いはありますが、追いつけなかったのは自分のせいです。今回は予選で使ったタイヤではなく、新品の方を使ったので、レース中盤から後半にペースを上げていく作戦でした。でもペースを上げていくのがちょっと遅かったです。次のレースは清水選手に抜かせず順位を上げて、表彰台に上がれたらと思います。

### 3 位 板倉慎哉選手(AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II)

若い子が速いので、ついていくのが難しかったです。スタートが割とうまくいって、(元山選手の)イン側に並べたので、そのままラインをキープして前に出ることができました。途中までは前の 2 台に食らいついていたんですけど、そのうちふたりのペースが上がって、自分のペースが落ちてしまいました。そこからはスピンしないように気をつけて走りました。タイヤはめちゃめちゃきつかったです。レース 2 は 4 番手からのスタートですが、またスタートでうまくまとめられればいいレースができると思います。頑張ります。

### 4 位(レース 2・3 番手スタート) 元山泰成選手(Ecotech. Racing.)

スタートで回転数を合わせるのをミスってしまい、出遅れてしまい、1 コーナーでブレーキをミスってしまい、板倉さんに前に出られてしまいました。そこから着いていこうとしましたが、前のペースが速かったので、とりあえず自分のペースは落とさずに頑張ろうと思って走りました。レース 2 では今日やってしまったことを反省し、二度と起こさないように、落ち着いて頑張ります。

### 5 位(レース 2・2 番手スタート) 松田大輝選手(K-TACK MYST KK-SII)

上位陣とけっこうタイム差があるので、レース 2 は 2 位からのスタートですけど、正直自信がありません。今日はスタートを失敗しちゃったんで、明日はしっかり決めて、自分のペースでできる限り頑張るって、なるべく上位陣に食らいついて、表彰台で終われたらな、って思います。今回は最後の方で温度が上がったせいか、タイヤがたれてしまいましたが、レース 2 はニュータイヤなので、気にせずにバンバン攻めていきたいです。セーブしてたら勝てないと思いますから。

### 決勝 6 位(レース 2・ポールポジション) 益田富雄選手(KMTS ミスト KKS II)

前の人に着いていくのと、抜きたいのとで必死にはなっていました。1 周目の 3 コーナーで 7 位に上がり、8 周目に太田選手を抜いて 6 位に上がりました。狙いには行っていませんでしたが、抜けるんなら抜いて行こうと。6 周目 7 周目からぴったり着いていけましたが、太田さんも速かったです。最後はちょっと無理やり入っていった感じでした。レース 2 は 1 周でも多くトップを走れるように頑張ります。

## 《決勝レース 2》

大会二日目に行われた決勝レース 2 も、レース 1 と同じく 12 周で行われた。前夜に降った雨の影響から、朝を迎えた時点で路面は濡れていたが、併催レースが次々に行われるにつれて次第に乾いていき、レース 2 のスタート進行が始まる頃には完全なドライコンディションとなった。フォーメーションラップが始まった時点での気温は 28℃、路面温度は 41℃だ。



リバースグリッドで行われるこのレースのポールポジションは、レース 1 で 6 位に入った益田選手。スタート直後の 1 コーナーにはトップで飛び込んだものの、この周のアトウッドカーブで 3 番手スタートの元山選手がインを刺してトップに浮上。バックストレートでアウトに並びかけてくる益田選手を退け、そのままトップでコントロールラインに戻ってきた。

続いて 2 周目のアトウッドカーブでは 4 番手スタートの板倉選手も、益田選手を捉えて 2 位に浮上。その後方では、前回優勝の清水選手が 6 番手スタートながら 1 周目を 5 番手で、2 周目には小川選手を捉えて 4 番手。さらに 3 周目の 1 コーナーでは、益田選手をもインから抜いて 3 番手に上がってきた。

一方、トップを走る元山選手のリードは、2 周終わってコンマ 9 秒。しかし 3 周目にはチームメイトの板倉選手がコンマ 8 秒後方に迫る。さらにそのコンマ 7 秒後ろには清水選手がいた。

清水選手は 4 周目のダブルヘアピンふたつ目で板倉選手のテールに食らいつき、5 周目のバックストレートでインから仕掛けてヘアピンで 2 番手に浮上すると、すかさず前を走る元山選手を追い上げる。5 周終わってその差はコンマ 2 秒だ。

すぐさま 6 周目のアトウッドカーブでアウトから仕掛け、バックストレートでインに潜り込む清水選手。3 番手の板倉選手もこれに乗じてアウトから並びかけ、トップ 3 台は 3 ワイドの状態ヘアピンへ向かっていった。ここで清水選手が元山選手を抜き去り、ついにトップに躍り出た。

続いて板倉選手も 7 周目に元山を捉え、2 位に浮上する。その後ろからは小川選手も迫ってきた。



小川選手は9周目の1コーナーで元山選手に仕掛け、3番手に浮上すると、すぐさま板倉選手のテールに食らいつく。元山選手は松田選手の先行をも許して5番手に後退してしまった。

そして10周目。小川選手はバックストレートで板倉選手のインをついて2番手に浮上するが、トップを快走する清水はすでにこの時点で2秒3ものリードを築き上げていた。

11周目、12周目と、清水選手とほぼ同等のペースで追従する小川選手だったが、さすがにこの差を残し1周で跳ね返すことはできず、両者はそのまま2秒2差でフィニッシュラインを通過。清水選手がレース1に続いて2連勝を達成し、S-FJ ジャパン・チャレンジのランキングでは、3番手に浮上。2位に小川選手、3位に板倉選手と、奇しくもレース1と同じ順位で表彰台に上がることとなった。小川選手もランキングでは5位に上がっている。

今回のS-FJ ジャパン・チャレンジは九州のオートポリスに舞台を移し、9月11日に2レース制で行われる。

#### 優勝 清水啓伸選手(Drago CORSE)



スタートの反応は良かったんですが、そこからの伸びが良なくて、そこでちょっとつまずきました。僕は前半が速いと分かっていたので、序盤で順位を上げるつもりがうまくいきませんでした。レース後半はストレートが速いことを利用して確実に順位を上げられましたが、3番手に上がった時に前がだいぶ離れていたの、「これは追いつかないかな？」という感じでしたね。

スーパーFJに今年一年乗ってきて、成長はしているんですけど、まだまだ鈴鹿では勝てなかったりするので、これからトップドライバーと戦えるようにしっかり実力をつけて、どのレースでも勝ちたいと思います。

#### 2位 小川涼介選手(M2 KK-SII)



まわりがみんな新品タイヤの中、僕だけユーズドだったので、皮が剥いてある分、スタートで一気に上に上がってレースしていこうと思っていました。でもスタートの出足で遅れてしまって順位を上げることができなかったの、そこから切り替えて1台1台抜いていきました。レース中盤まではユーズドタイヤでも問題なかったんですが、後半は新品タイヤとの差が出てしまいました。僕はひたすらブレーキを思い切りいくことだけ考えて走っていました。

#### 3位 板倉慎哉選手(AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II)



チームメイトが3番手スタートでトップに立って、僕が2位になれたので、いい感じだなあ、プランどおりだなあと思っていました。もっと後ろを離せば良かったんですけど、前半のペースが良なくて、引き離せなくて。後ろから速い子たちがきていたので、もうちょっと粘れるかなあと思っていましたが、なかなかペースが上がらなくて抜かれちゃいました。理想は早めにトップに立って逃げられれば、ワンチャンあるかなあと思っていたんですが、うまくいきませんでした。



## 2022 OKAYAMAチャレンジカップ レース 第5戦 SUMMER FESTIVAL IN OKAYAMA スーパーFJ 岡山シリーズ

### 公式予選 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイテッククラブ (AC)

2022.08.20 発表 9 : 56

天候：曇り

コース状況：ドライ

スタート時間：8:55:00

フィナー時間：9:10:10

岡山国際サーキット 3.703km

順位	ゼッケン	ドライバー / 車名	モデル	ベストタイム	Behind	Gap	%	Lap	ベスト時刻
1	34	清水 啓伸 DragoCORSE	KK-S II	1'39.236			99.650	7/ 7	09:07:31
2	12	小川 涼介 M2 KK-S II	KK-S II	1'39.747	0.511	0.511	100.163	7/ 9	09:07:09
3	1	元山 泰成 Ectech. Racing.	KK-S II	1'39.770	0.534	0.023	100.186	7/ 7	09:08:29
4	55	板倉 慎哉 AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KK-S II	1'39.863	0.627	0.093	100.279	8/ 8	09:10:10
5	19	松田 大輝 K-TACK MYST KK-S II	KK-S II	1'40.119	0.883	0.256	100.536	9/ 9	09:10:43
6	21	太田 浩 ミスト・セキグチ・制動屋	KK-S II	1'40.374	1.138	0.255	100.792	9/ 9	09:11:07
7	81	妹尾 俊郎 SSEC☆KRS☆10V	RD10V	1'40.483	1.247	0.109	100.902	7/ 9	09:07:42
8	97	益田 高雄 KMTS ミストKKS II	KK-S II	1'40.764	1.528	0.281	101.184	8/ 9	09:09:36
9	51	永原 蒼翔 ビットワークながはらLBJ	KK-S II	1'40.866	1.630	0.102	101.287	4/ 8	09:02:22
10 ●	86	吉川 宗洋 CF垂衣☆	KK-S II	1'41.165	1.929	0.299	101.587	9/ 9	09:10:47
11	57	東 慎之介 セルモグループORM/MYST	KK-S II	1'41.467	2.231	0.302	101.890	4/ 9	09:02:36
12	71	林 寛樹 ゼンカイレーシング真不同MURB遊技関連	KK-S II	1'42.638	3.402	1.171	103.066	7/ 9	09:08:13

----- 以上予選通過 -----

予選通過基準タイム (130%) 2'09.460

●ゼッケンNo. 86は、2022 岡山国際サーキット 4輪レース 一般競技規則書 第8章 第41条 1. (ビットレーン速度違反) により、Race1スターティンググリッドを 2 グリッド降格とする。(9:06)

参加台数：12台 出走台数：12台



# Race1 決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイタクラブ (AC)										スタート時間：13:02:52
2022.08.20 発表 14:01 天候：曇り										フィッシャー時間：13:22:59
コース状況：ドライ										岡山国際サーキット 3.703km
順位	セク	ドライバー / 車名	モデル	周回	所要時間	Behind	Gap	km/h	ベストタイム	周回
1	34	清水 啓伸 DragoCORSE	KK-S II	12	20'06.656			132.573	1'39.748	8
2	12	小川 涼介 M2 KK-S II	KK-S II	12	20'06.791	0.135	0.135	132.558	1'39.584	11
3	55	板倉 慎哉 AMORE TOKYO☆表参道☆KK S II	KK-S II	12	20'12.574	5.918	5.783	131.926	1'40.145	5
4	1	元山 泰成 Ectech. Racing.	KK-S II	12	20'15.277	8.621	2.703	131.632	1'40.359	4
5	19	松田 大輝 K-TACK MYST KK-S I I	KK-S II	12	20'19.132	12.476	3.855	131.216	1'40.680	7
6	97	益田 富雄 KMTS ミストKK S II	KK-S II	12	20'22.293	15.637	3.161	130.877	1'40.722	9
7	21	太田 浩 ミスト・セキグチ・制動屋	KK-S II	12	20'24.485	17.829	2.192	130.642	1'40.866	10
8	81	妹尾 俊郎 SSEC☆KRS☆10V	RD10V	12	20'24.943	18.287	0.458	130.594	1'40.902	6
9	51	永原 蒼翔 ビットワークながはらLB J	KK-S II	12	20'27.873	21.217	2.930	130.282	1'41.256	10
10	57	東 慎之介 セルモグループORM/MYST	KK-S II	12	20'38.649	31.993	10.776	129.148	1'41.345	8
11	71	林 寛樹 ゼンカイレシング真不同MUR B遊技関連	KK-S II	12	20'52.158	45.502	13.509	127.755	1'42.921	9
————— 以上完走 —————										
	86	吉川 宗洋 CF亜衣☆	KK-S II	7	12'02.658	5 Laps	5 Laps	129.128	1'41.531	6

完走周回数 8Laps

参加台数：12台 出走台数：12台

ベストラップ：12 小川 涼介 1'39.584 11/12 133.865km/h

## 2022 OKAYAMAチャレンジカップ レース 第5戦 SUMMER FESTIVAL IN OKAYAMA スーパーFJ 岡山シリーズ

### Race 2 スターティング グリッド

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイタクラブ (AC)

2022.08.21 発表 14:40

岡山国際サーキット 3.703km

1 位 97 KK-S II 益田 富雄 KMTS ミストKK S II	2 位 19 KK-S II 松田 大輝 K-TACK MYST KK-S I I
3 位 1 KK-S II 元山 泰成 Ectech. Racing.	4 位 55 KK-S II 板倉 慎哉 AMORE TOKYO☆表参道☆KK S II
5 位 12 KK-S II 小川 涼介 M2 KK-S II	6 位 34 KK-S II 清水 啓伸 DragoCORSE
7 位 21 KK-S II 太田 浩 ミスト・セキグチ・制動屋	8 位 81 RD10V 妹尾 俊郎 SSEC☆KRS☆10V
9 位 51 KK-S II 永原 蒼翔 ビットワークながはらLB J	10 位 57 KK-S II 東 慎之介 セルモグループORM/MYST
11 位 71 KK-S II 林 寛樹 ゼンカイレシング真不同MUR B遊技関連	12 位 86 KK-S II 吉川 宗洋 CF亜衣☆

本スターティンググリッドは、2022 OKAYAMAチャレンジカップ レース 特別規則 第8章 第27条 13.②に基づき、決定した。

参加台数：12台



2022 OKAYAMAチャレンジカップレース 第5戦 SUMMER FESTIVAL IN OKAYAMA  
スーパーFJ 岡山シリーズ

Race2 決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイタクラブ (AG)

2022.08.21 発表 13:18

天候：曇り

コース状況：ドライ

スタート時間：11:53:03  
チェッカー時間：12:13:16  
岡山国際サーキット 3.703km

順位	セク	ドライバー / 車名	モデル	周回	所要時間	Behind	Gap	km/h	ベストタイム	周回
1	34	清水 啓伸 DragoCORSE	KK-S II	12	20'13.791			131.793	1'39.752	4
2	12	小川 涼介 M2 KK-S II	KK-S II	12	20'16.037	2.246	2.246	131.550	1'39.806	7
3	55	板倉 慎哉 AMORE TOKYO☆表参道☆KK-S II	KK-S II	12	20'16.666	2.875	0.629	131.482	1'40.261	4
4	19	松田 大輝 K-TACK MYST KK-S II	KK-S II	12	20'19.528	5.737	2.862	131.173	1'40.431	7
5	1	元山 泰成 Ectech. Racing.	KK-S II	12	20'23.242	9.451	3.714	130.775	1'40.435	4
6	57	東 慎之介 セルモグループORM/MYST	KK-S II	12	20'25.159	11.368	1.917	130.570	1'40.520	10
7	21	太田 浩 ミスト・セキグチ・制動屋	KK-S II	12	20'27.072	13.281	1.913	130.367	1'40.940	6
8	81	妹尾 俊郎 SSEC☆KRS☆10V	RD10V	12	20'27.921	14.130	0.849	130.277	1'40.953	7
9	97	益田 富雄 KMTS ミストKK-S II	KK-S II	12	20'40.399	26.608	12.478	128.966	1'41.202	4
10	71	林 寛樹 ゼンカイレーシング真不同MURB遊技関連	KK-S II	12	20'56.813	43.022	16.414	127.282	1'43.104	4
11	86	吉川 宗洋 CF亜衣☆	KK-S II	10	17'26.954	2 Laps	2 Laps	127.329	1'41.767	4
●	51	永原 蒼翔 ビットワークながはらLBJ	KK-S II	5	9'06.580	7 Laps	5 Laps	121.947	1'40.851	4

完走周回数 S-FJ:8Laps

●セクNo.51は、2022 岡山国際サーキット 4輪レース 一般競技規則書 第4章 第18条 2. ①(他者との接触行為)により、決勝結果に30秒を加算した。(12:21)

参加台数：12台 出走台数：12台

ベストラップ：34 清水 啓伸 1'39.752 4/12 133.639km/h

